

## 現行ビジョン

### ◆基本理念

**本県の地域資源を活かした  
持続可能で活力に満ちた清流の国**

### ◆重点プロジェクト

- ・再生可能エネルギー創出プロジェクト
- ・エネルギー地産地消プロジェクト
- ・次世代エネルギー使用定着プロジェクト

### ◆成果と課題

#### 【成果】

- ・コンソーシアムのワーキンググループによる調査研究・技術開発が進展
- ・再生可能エネルギー創出量の増加
- ・最終エネルギー消費量の削減  
(部門別では運輸・家庭部門が削減)

#### 【課題】

- ・再エネ導入の手法が太陽光発電に偏っている  
→地域ポテンシャルの活用が必要
- ・地産地消モデルの普及展開が進んでいない  
→地域主導の取組が必要  
→そのための人材育成が必要
- ・今後、電化していく社会を見据えて、産業・業務部門を中心に更なるエネルギー消費量の削減が必要

## 社会情勢の変化

- ・国の2050年カーボンニュートラル宣言  
→グリーン成長戦略の策定
- ・2050年「脱炭素社会ぎふ」の実現
- ・エネルギー基本計画（第5次）の策定  
→現在、改定に向け見直しを行っている。
- ・水素基本戦略の策定
- ・卒FITや再エネ特措法の抜本改正、電力自由化などによる電力市場の変化
- ・災害時のエネルギー確保への関心の高まり  
⇒前回改定時から社会情勢は大きく変化

## 次期ビジョンの役割

- ・エネルギー関連産業の振興
- ・県のエネルギーに関する施策の方針
- ・各分野（県、市町村、事業者、県民）における行動指針

## 県関連計画との連携

「第6次岐阜県環境基本計画」  
「岐阜県地球温暖化防止・気候変動適応計画」  
「次期成長・雇用戦略」と一体で推進

## 目指すべき方向性

### 拡 基本理念

**本県の地域資源を活かした  
強靱で持続可能な清流の国**

### 目指すべき将来の姿

- ◎エネルギー関連産業の主力産業化
- ◎エネルギーの安定供給
- ◎「脱炭素社会ぎふ」の実現

## 重点プロジェクト

**次世代エネルギー産業振興  
プロジェクト**

**地産地消型エネルギーシステム  
構築プロジェクト**

**エネルギー利用効率化  
プロジェクト**

## 現行ビジョンにおける 成果・課題

### ◆主な取組と成果・課題

#### (1) 再生可能エネルギー創出プロジェクト

地域資源（森林、水等）を活かした再生可能エネルギーの創出

- ・コンソーシアムによる技術開発の進展
- ・農業用水への小水力発電、木質バイオマス発電導入支援
- ・県有地を活用した再エネ創出（土地、屋根貸し事業）
- ・エネルギー活用サポートデスクの設置

⇒小水力、木質バイオマスへの機運が高まり、再エネ創出量は増加したが、依然として太陽光が突出して増加している現状であるため、適地での事業化に向けた支援が必要。

#### (2) エネルギー地産地消プロジェクト

再エネの貯蔵・輸送・供給等の効率的・面的利用技術開発による地産地消型エネルギーシステムの構築

- ・八百津町（中山間地）モデルの構築及び推進
  - ・フォーラム等による地域主導の再エネ事業の機運醸成
- ⇒八百津町モデルを構築することができたが、当モデルの更なる推進と他地域への普及推進が必要。

#### (3) エネルギー使用定着プロジェクト

家庭等での新エネルギーや次世代エネルギー技術等の使用・定着を通じた省エネの推進

- ・ぎふ清流COOL CHOICEを展開
- ・プラットフォーム事業による中小企業に関する省エネ支援
- ・省エネ住宅への支援
- ・ZEHに関する実務者研修を実施
- ・次世代自動車（EV・PHV・FCV）の普及推進
- ・水素ST整備への支援

⇒県内最終エネルギー消費量は減少したが、各部門において更なる推進が必要。

## 対応の方向性

### ◆社会情勢の変化

- ・国の2050年カーボンニュートラル宣言
- ・2050年「脱炭素社会ぎふ」の実現
- ・エネルギー基本計画（第5次）の策定による再エネの主力電源化  
※改定に向けた動き
- ・水素基本戦略策定による水素社会実現に向けた動き
- ・卒FITによる自家消費型発電設備の増加
- ・FIT法抜本改正による地域活用電源の推進
- ・電力システム改革（地域新電力の参入）
- ・災害時のエネルギー確保への関心の高まり

### ◆対応の方向性

- ①県内エネルギー関連産業の育成
- ②地域資源を活かした再生可能エネルギーの最大限導入
- ③再生可能エネルギーを活用した地産地消型エネルギーシステムの構築
- ④水素社会の実現に向けたモデル事業構築の側面支援や普及啓発
- ⑤再生可能エネルギーや創エネ・蓄エネ・省エネ技術の使用・定着を通じた効率的なエネルギー利用の推進

## 次期ビジョン重点プロジェクト

### 次世代エネルギー産業振興プロジェクト

2050年カーボンニュートラルに向けたビジネスチャンスをつ捉え、県内の次世代エネルギー関連産業への支援を行うことで産業育成を図る。

- ①次世代エネルギー産業創出コンソーシアムによる技術開発（効率的利用、導入コスト軽減等）と製品化・販路拡大への支援
- ②地域における再生可能エネルギー発電事業を普及促進するための人材育成
- ③中小企業の次世代エネルギー関連産業への参入支援

【成果指標】

- ・コンソーシアムによる技術開発助成件数

### 地産地消型エネルギーシステム構築プロジェクト

エネルギーの生産・貯蔵・輸送・供給を地域ごとに行う「地産地消型エネルギーシステム」の構築に向けた取組を実施することで地域の強靱化を図る。また、地域資源を活かした再生可能エネルギーの最大限導入を図る。

- ①地域資源（小水力、木質バイオマス等）を活かした再エネ創出によるエネルギー地産地消の推進
- ②市町村、民間企業等による地域ごとの地産地消型エネルギーシステムの構築支援
- ③次世代エネルギー産業創出コンソーシアムによる技術開発（効率的利用、導入コスト軽減等）と製品化・販路拡大への支援（再掲）

【成果指標】

- ・地産地消型エネルギーシステム構築数

### エネルギー利用効率化プロジェクト

創エネ・蓄エネ・省エネ技術の普及拡大を通じて、家庭や事業所のエネルギーコスト低減や、運輸部門における省エネ化など、省エネ社会の形成を図る。

- ①次世代自動車（EV・PHV・FCV）の普及促進
- ②中小企業への省エネ支援による経営改善及び省エネの推進
- ③水素社会実現に向けた普及啓発
- ④計画的な水素ステーション整備への支援

【成果指標】

- ・最終エネルギー消費量削減率●●%
- ・最終エネルギー消費量に対する再生可能エネルギー創出量の割合●●%
- ・次世代自動車（EV・PHV・FCV）普及台数
- ・水素ステーション整備数